

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町) TEL (0848) 37-7272
- ワークスさつき (美ノ郷町) TEL (0848) 48-5900
- むかいしま作業所 (向島町) TEL (0848) 44-6460
- 尾道福祉専門学校 (久保町) TEL (0848) 37-2222
- 尾道さつき作業所 (久山田町) TEL (0848) 23-8004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町) TEL (0848) 48-4070
- すだちの家 (御調町) TEL (0848) 77-1122
- 尾道市障害者サポートセンターはな・はな (門田町) TEL (0848) 29-5002

▼バイタウン尾道内にオープンした「親子教室あいあい」



児童デイサービス 『親子教室あいあい』 オープン

親子教室あいあい 小川 恵美

6月1日、尾道市東尾道のバイタウン尾道内の共同オフィス（2階建て延べ503平方メートル）を改装し、『親子教室あいあい』をオープンしました。

指導訓練室や遊戯室のほか、人工芝をはった広々とした屋内庭もあり、子どもたちが生き生きと活動できるようにしました。

「親子教室あいあい」は、ことばが増えにくい・動きが多い・コミュニケーションがとりにくいななど、育ちにくさや育てにくさを有する就学前の児童と保護者が一緒に利用することが出来ます。定員は一日10組で、月曜日から金曜日まで開所しています。

子どもたちは親子でのふれあい遊びや身体全体を使った遊び、様々な体験を通して

サービス親子教室あいあい開所式



▲開所式であいさつする尾道さつき会山根良彦理事長

この日から、子どもたちや保護者の方々に、地域の方々と、楽しく、温かく安心して遊べる場を設けていきたいと思っています。

▼洗濯干しに挑戦



▲プール遊びを楽しむ子どもたち

て、意欲や自信を高め、ことばやコミュニケーションの力を豊かに育むことを目的にしています。この夏は、プール遊びやそうめん流し、ピクニックシャボン玉・小麦粉粘土を体験しました。

保護者の方々は、発達についての学習会を行ったり、子どもの成長と一緒に確認したい、ゆったり、じっくりと子どもと向き合うことができるように支援しています。

また、臨床発達心理士などの専門家を招いた子どもの発達に関する相談事業（障害児も広島県から委託を受けて行



木製いす型ポータブルトイレ
家具調の雰囲気を持つので、部屋の中でも違和感が少ない。安定感があり、着座や立ち上がりの動作がしやすい。



特殊寝台(ベッド)
起き上がり補助(背上げ機能)したり、立ち上がり補助(昇降機能)する。ご本人だけでなく、介助者の負担も軽減する。



自走用車椅子
後輪に取り付けられたハンドリムを両手で回すことにより進む。フレームにアルミ合金を使って軽量化をはかったものもある。



四輪歩行車
杖などと比較して安定性が高く、軽く進むので、両下肢の筋力が弱い場合でも、もたれかかるようにして歩くことができる。

福祉用具ってなに?

星の里福祉用具貸与事業所 清政 弥生

福祉用具とは何でしょうか。福祉用具という言葉は聞いて、どんなことを想像しますか？

福祉用具と聞くと車椅子や介護ベッドを思い浮かべる方が多いと思いますが、その他にも便利なものがたくさんあります。福祉用具とは、高齢者や障害者の自立を支援するために、一人ひとりに合わせた生活の必需品です。また、介護する方の負担を軽減する、そんな役割ももつ生活するための道具です。

福祉用具を使うと、できなかったことができるようになったり、時間が短縮されたり、スムーズに行えるようになったりします。また、介護する方の体の負担を軽くし、腰痛や疲労などから身を守ることもできます。普段の生活の中では見たことのないような、馴染みのないものもありますが、決して特殊なものではありません。

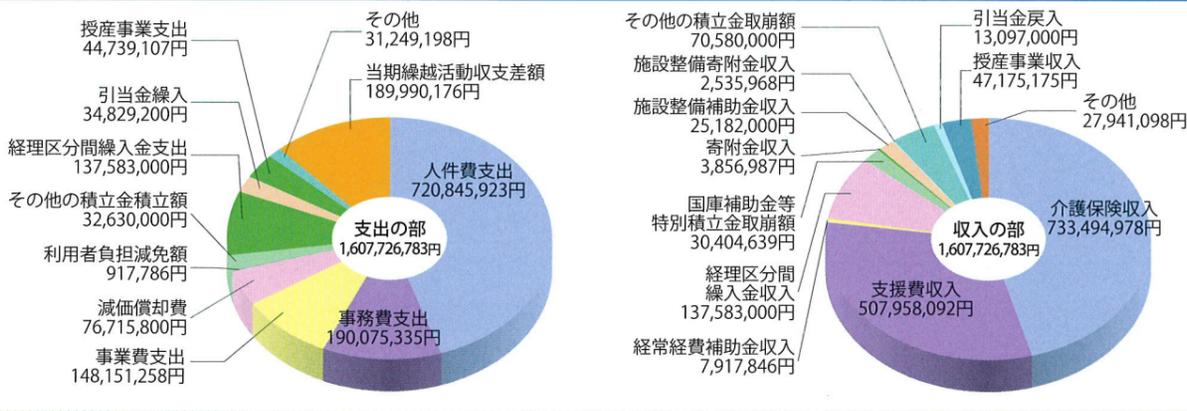
星の里福祉用具貸与事業所では、介護保険等でのベッドや車いすのレンタルを行っています。ショップ星の里では、紙おむつや杖、靴などの販売を行っています。また、歩行器や四点杖などの商品を、実際に見たり試してから購入することもできます。ショップにないものについても、カタログから選んでいただき取り寄せることもできます。紙おむつ等については、ご自宅への配達もしております。

スタッフが一人ひとりにあった商品選びのお手伝いをします。福祉用具について疑問等ありましたら、小さなことでも遠慮なく、お気軽にご相談ください。



▲「ショップ星の里」いろいろな商品を取りそろえています。

2009年度 尾道さつき会収支状況



編集後記

100歳以上の所在不明高齢者。いつの時代も人と人のつながりを問われているように思います。障害児者や高齢者が安心して生活できる地域社会の実現。尾道さつき会の活動を皆さんに分かりやすくお伝えできれば...と思っています。(T・S)

寄付者一覧

(二〇一〇年四月〜七月・順不同、敬称略)
 〈寄付金〉 福岡房子、青山幸子、UCC コーヒーバザールむかいしま店、花咲千加子、小形元信、殿山君子、小川照代、鼻孝子、丹藤美智子、柿本真弓、小早川幸子、中島秀晴、杉原八重子、國安道雄、羽田光昭、榎本禎子、万福寺仏教婦人会、村上賢一
 〈寄付物品〉 田尻弘子、第79番大師信者一同、須田稔

むかいしま作業所 ご案内

アート作品展

場所 尾道市民センターむかいしま ころろ
尾道市向島町 5531-1

期間 2010年10月1日(金)～12日(月)

向島の個性あふれるアーティストの力作を集めた作品展へぜひお越し下さい。

企業と障害者施設①

～自助具など工夫～

▼企業の方と協力しての納品作業



かつおパック袋詰め
むかいしま作業所では約3年前から下請け作業として、かつおパックの袋詰め作業を行っています。作業における注意点は衛生面と、入れる方向や数を間違わないことです。作業を行う利用者さんの中には、一人では作業を完了できる人もいれば、支援が必要な人もいます。多くの利用者さんがこの仕事に参加できるよう自助具*を活用したり、また得意な工程を見つけ作業を分担するなど工夫しています。利用者さんが週に一度、特に張りきる日は納品日です。それは納品に向けて、出荷目標の達成のために頑張り、次に来る作業を楽しみにしているからです。



▲10個を数えられる自助具の活用

むかいしま作業所 岡田 朋樹

***自助具とは**…運動機能に障害のある人のために、自力で日常生活動作を行えるように工夫して作られた器具・道具。補助具。

納品は担当者である株式会社福井亀の助商店の冠野さんがトラックで来られ、利用者さんと一緒になって商品の積み込みを行います。冠野さんにむかいしま作業所に対する率直な感想を尋ねてみました。「作業を依頼した当初は、本当にできるのか不安に思ったが、今では、みんなの団結力や一つの事に対する姿勢、真剣さが伝わってくるので安心して使っています。納品時の皆さんの目の輝きを見ると、作業を依頼して本当に良かったと思います」とうれしう返答をいただきました。こちらからも利用者の皆さんと仕事に対する真剣な姿勢を維持しながら、企業の期待に沿えるよう作業に取り組んでいきます。

■ワークスさつき

多機能事業
(就労移行支援6名、就労継続支援B型14名)
定員20名
平均工賃は月額約30,000円(平成21年度支給)

■広島県工賃ステップアップ計画

(広島県障害支援課)
目標工賃：平成23年度までに月額25,000円、
将来は月額34,000円以上へ

第3期工事
は10月1日着
工、来年1月末
に竣工予定で
す。完成後は、
利用者の工賃
アップや利用
希望者の受入
増に向け、一層
の努力をして
いきたいと思
います。



▲ベッドの消毒作業に取り組む利用者さん

尾道市美ノ郷町の流通団地内に、「ワークスさつき」を開設し、今年で7年目を迎えます。介護機材の消毒事業を主な作業として、障害者の一般就労の促進と比較的高い工賃の支給を目指した運営をしています。このたび、消毒事業の取引先でもある、深川医療器株式会社から800万円の寄付の申し出があり、かねてから計画していた作業場増築の第3期工事を実施することになりました。施設整備としては、平成16年5月及び翌年3月に第1期・第2期工事を実施し、管理棟と作業場を建設しました。「作業場のさらなる増築を」と第3期工事を予定していましたが、資金的な課題もあり計画を見送っていました。近年、各取引先から作業量増の依頼が再三あり、手狭になった作業場に悩まされていたところでした。

▲流通団地内にある「ワークスさつき」

「ワークスさつき」第3期工事始まる

ポケットパークの清掃始めました!



すだちの家 仲本 明洋
すだちの家では、4月から尾道市の清掃委託業務として御調町内にあるいきいきロード*に設置されたポケットパーク3箇所のトイレを清掃しています。

▲心を込めて清掃する利用者さん
週3日、午後から利用者3名が取り組んでいます。最初のうちは1時間半かかっていたトイレ清掃でしたが、皆さんの粘り強い努力で1時間で終わるまでに短縮されました。

外での清掃作業のため、夏場の暑い日も、冬の寒い日もありますが、いきいきロードを利用される皆様が安心して清潔に利用できるよう一生懸命に取り組んでいます。見かけた際には、ぜひ声をかけてください。利用者さんのやる気につながると幸いです。よろしくお願いいたします。

***いきいきロード**とは…御調川に沿って整備された遊歩道。健康づくりのため、たくさんの方がウォーキングしています。

新任職員紹介



尾道さつき作業所所長
小松谷 一志 (60歳)

●就任して感じたことは
利用者さんが、喜びや楽しさを、本当にいい笑顔で表現され、うれしくなるときがあります。とにかく、これまでにない、新鮮な気持ちで毎日仕事をさせていただいています。

●就任にあたって
利用者さんと職員が共に心から笑うことの出来る作業所であればと思っています。今は、それを維持するために私には何が出来るのかを探しているところです。

知識、経験ともに乏しい私ですが、利用者さんや保護者の皆様から安心してご利用いただける施設となるよう、職員共々努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



▲認知症予防の話を熱心に聞く参加者の方々

「出前講座」で介護予防!

尾道市向島地域包括支援センター 平本 美花

転倒を防ぐために、いつでもどこでもできる体操の紹介や、認知症を予防するための生活の工夫、また、認知症になられた方の人権を守る成年後見制度の紹介など、各サロンからの要望に応じて約1時間半の講座を開催、地域の方々に喜ばれています。今後この出前講座を通じて地域での支え合いがますます充実することを願っています。

今年度、向島地域包括支援センターでは、①転倒予防 ②認知症予防 ③成年後見制度の紹介など、スタッフがそれぞれの専門分野を担当し、地域の普及啓発を行う「出前講座」を実施しています。介護予防とは、①介護を必要とする状態を未然に防ぐこと ②今は介護が必要でも、できるだけ身体機能を改善すること—を言います。介護予防と聞けば、高齢者が取り組むことと思われるが、ですが、決してそうではなく、若い世代からの取り組みが大切であり、長年の健康づくりが高齢期になったときの体力にも関係してきます。介護予防の視点は全世代に必要なことと言えるのです。

▼「気持ちいい」。背すじをのばしてストレッチ

